

「充実の5月を目指して」

<南風 第3回 5月>

令和6年度もスタートから1ヶ月経ち、5月に入りました。子どもたちが落ち着いて学習できる日常に感謝しております。

職員は毎日、「子どもたちのために」という強い思いで、南っ子と全力で向き合っています。よく、校長会や様々な研修で「学校の強みは何か」と問われます。「伝統的な学校行事」、「最新の授業スタイル」など各校で強みをあげますが、私は南小の最大の強みは「人」であると思います。子どもたちのことを真剣に考え、日々全力でクラス・学校全体で子どもたちと接する教職員に校長として頭が下がる思いです。そして、その教職員集団に対してあたたかいご理解やご協力をいただいている保護者や地域の方々にも感謝しかありません。今後もこの強みを生かしながら、さらに元気で心優しい南っ子の育成に努めます。

先日、6年生といっしょに修学旅行に行かさせていただきました。私自身、久しぶりの修学旅行の引率であったので、子どもたちと同じくらい楽しみにしていました。途中、できるだけリアルタイムで保護者の皆様にも活動の様子を見ていただこうとHPにて様子を報告させていただきました。2日間とも天気に恵まれ、暑いぐらいでしたが、しっかりと水分も摂り、みんな元気に学校に帰着することができました。出発式で6年生に、「友だちの良いところを見つけたい」「歴史のミステリーを感じてほしい」「元気に修学旅行に行けることに対して周囲の人たちに感謝してほしい」と話をしました。判別行動や旅館で各部屋で過ごす中で、クラスでいつもは見られない仲間のよいところが発見できた子も多くいたようです。また、「家族が修学旅行のお小遣いをくれたからお土産を買う」と話してくれたり、一生懸命に説明してくれるガイドさんに大きな声で御礼が言えたりする「感謝の気持ち」をあらわす子も多く見られうれしく感じました。2つ目の「歴史のミステリーを感じる」については、社会科のカリキュラムの関係でまだ歴史学習に入っていないので詳細な歴史的背景は知らなかったけど、その大きさや古さについて驚き見入っている子も多くいました。今後の社会科の学習が楽しみになってきました。

人気観光地であるため、2日目の京都清水坂はすごい人混みになりました。添乗員さんやガイドさんも口をそろえて「今までに見たことのない人の多さ」と驚いていました。班別分散を終えて清水坂仁王門に集合する際、各班ではぐれないように声をかけ合い、ガイドさんの指示に従いながらみんな無事に集合できました。その後、清水寺の見学は当初はクラスごとにまとまって見学の予定でしたが、時間的・場所的な点から急遽、班ごとの見学に変更しました。人混みの中で学年の先生から指示や集合場所、時間を説明されましたが、どの班もルールを守りながら予定どおりに集合場所にたどり着くことができました。その時の子どもたちの顔は、不思議なことに達成感でいっぱい顔でした。今後大きく花を咲かせてくれそうな「宝」をいっぱい持ち帰ることのできた2日間の修学旅行でした。

5月も元気いっぱいがんばる南っ子の活躍に期待するとともにあたたかい支援をお願いします。教職員一同も南っ子のパワーに負けないように全力でがんばって、個々の良いところを伸ばしていきたいです。よろしくお願いします。